

令和 8 年度 福井市東安居小学校スクールプラン

学 校 教 育 目 標

豊かな心を持ち、主体的に学び合い
たくましく生きる子の育成

め ざ す 児 童 像

- 明るく（生き生き活動する子）
- 仲よく（思いやりのある子）
- たくましく（心身ともに健康な子）

《保護者・地域・教師の願い》

- ◇夢や希望を持ち、実現に向けて行動できる子
- ◇自ら考え課題を解決のために行動できる子
- ◇生活習慣や学習規律が確立した子

【光陽中学校区教育の目的】

今日的教育課題の解決に向けて連携を深める

【本校研究テーマ】

主体的に学び、自分の考えを伝え合う子の育成
—分かる、つながる授業づくりを通して—

重 点 目 標

「確かな学力」

- ◎表現力を高め、自分の考えを伝え合いながら学びを深める授業づくり
- 本に親しむ読書活動の充実

「豊かな心」

- ◎教育活動全体を通して生命尊重と相手を思いやる態度の育成
- 縦割り活動の充実とキャリア教育による自己有用感の育成

「健やかな体」

- ◎最後までやり遂げる強い心と体の育成
- 安全や規則正しい生活を心がけ、健康な生活を送ろうとする態度の育成

「信頼される学校」

- ◎地域の人々との交流・体験・学習活動の充実と地域を愛の育成
- 積極的な学校の情報発信

具 体 的 な 取 組 と 数 値 目 標

- ・表現力の育成に重点を置き、児童が自分の考えを伝える力を高め、他者とつながり学びを深めることができる授業展開を工夫する。
- ・課題を工夫し、対話の必然性から主体的対話的な学びを推進する。
- ・ミライシードを活用し、児童の個別最適な学びを主体的に進める支援体制を充実させる。
- ・読み聞かせや本に親しむ機会を工夫し、読書好きの児童を増やす。

- ・授業がよくわかる。
児童アンケート A 評価 5 5 % 以上
- ・授業に主体的に取り組んでいる
児童アンケート A 評価 5 0 % 以上
- ・読み聞かせや読書が好き
読書調査 A 6 0 % 以上

- ・道徳教育を充実し、思いやりの心や、様々な考えや立場の違いを受け入れられる態度を育成する。
- ・集会や縦割り活動で、伝え合う活動を増やし内容の充実を図り「絆づくり」「居場所作り」を通して自己有用感を高める。さらに、キャリア教育にも力を入れ、さらなる自己有用感の高まりを目指す。

- ・道徳の時間には考えを深めることができている。
児童アンケート A 評価 6 0 % 以上
- ・自分は人の役に立っている
児童アンケート A 評価 5 0 %

- ・週の超過勤務が 15 時間を超えないよう、各自が働き方のマネジメントを行う。
- ・勤務時間内での教材研究の時間を確保する。
- ・短期サイクルで学校運営を見直し、働き方の意識を高める。

- ・体育の授業や体育的行事等で、投力・持久力の向上と最後までやり遂げる経験を増やすと共に、柔軟性を高めけがの予防に努める。
- ・児童が自らの健康と安全に対して主体的考える態度を育成する。
- ・「東安居っ子のスマートルール」の理解を深め家族とともに考える。

- ・体力テストの T スコアを元に投力・持久力向上と柔軟性を高める機会を増やすことができた。
教職員アンケート
- ・「東安居っ子のスマートルール」について親子で話すことができた
保護者 A 評価 4 0 % 以上

月の超過勤務
60 時間未満

- ・東安居の自然・歴史・文化・行事について、地域の多様な人々と協働して学び、児童が地域について深く考えることで地域愛と社会性を高める学校づくりをめざす。
- ・家庭や地域に、学校代様子を HP や学校便り等で積極的に発信する。
- ・気がかりな児童の情報を関係機関とも共有し早期に対応すると共に個に応じた支援を充実させ新たな不登校を出さない。

- ・郷土福井を大切にしたい。
児童アンケート A 評価 6 5 % 以上
- ・学校は、保護者に教育方針等を適切に伝えている。
保護者アンケート A 評価 6 0 % 以上
- ・終礼時の情報交換実施率 1 0 0 %
新規不登校なし